

令和 8 年度

教育に関する事務の管理及び執行
状況の点検及び評価等報告書

自己点検・評価シート

(令和 7 年度事業対象)



令和 8 年 9 月

椎葉村教育委員会

◆ その1

○ 自己点検・評価の考え方	1
○ 1 教育委員会の活動	
(1) 教育委員会の会議の運営改善	1
(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	1
(3) 教育委員会と事務局との連携	1
(4) 教育委員会と首長との連携	1
(5) 教育委員会の研修の充実	1
(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	1

◆ その2

○ 2 教育委員会が管理・執行する事務	
(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	2
(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	2
(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	2
(4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任命その他人事に関すること	2
(5) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	2
(6) 小学校及び中学校の通学区域の設定及び変更に関すること	2
(7) 社会教育委員、社会教育指導員その他の指導員及び委員会の所管に属する附属機関等の委員の任命に関すること	2
(8) 教科書用図書の採択に関すること	2
(9) 文化財の指定及び解除に関すること	2
(10) 文化功労者、教育功労者、社会教育功労者等の表彰に関すること	2
(11) その他重要又は異例と認められる事項	2

◆ その3

○ 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	
(1) 学校教育(教育内容の充実)	3～4
(2) 学校教育(教育環境の整備)	4～5
(3) 青少年の健全育成	5～6
(4) 生涯学習・社会教育	6～7
(5) 図書館サービスの充実	7
(6) 村民文化	7～8
(7) スポーツ・レクリエーション	8～9
(8) 人権の尊重	9
(9) その他教育関連事項	9

令和7年度 自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

その1

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第26条の規定に基づき、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。

そこで、椎葉村教育委員会では、毎年取り組んでいる事務事業を点検し、必要性、効率性等の評価を行い、その結果を公表することにより、村民に対する説明責任を果たし、村民に信頼される教育行政の推進を図ります。

大項目	中項目	小項目	点検・評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催回数	○ 定例会を9回開催することができた。特に教育関係の条例・規則等の一部改正や、教育課の行事等の内容に的確な対応を図る事ができた。 また、令和7年度より不土野小学校を拠点とする親子山村留学の応募を実施した。結果は、1名の体験留学があった。その他には、教科書選定やICT教育や校務支援システムについても柔軟な対応を行うことができ、児童生徒と教職員用のタブレットも県一括購入により予定どおり納入ができ、教育環境と教職員の働き方支援に取り組む事ができた。
		② 教育委員会会議の運営上の工夫	○ 事務局の事務報告の正確性を図り会議の合理化に努めた。開催案内と同時に前回の議事録及び会次第を同梱した。また、事前に協議事項を通知することで、委員の考えを引き出しやすくする工夫を図り、会議の充実を図った。 他の会議や学校行事等の日程を調整し、なるべく会議開催の効率化を図った。また、リモート開催も見据えて、タブレットを配布している。
	(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	△ 教育委員会会議の傍聴を希望する者はいなかった。
		② 議事録の公開、広報・公聴活動の状況	△ 議事録の公開請求はなかった。 今後も傍聴の呼びかけを行っていく。
	(3) 教育委員会と事務局との連携	① 教育委員会と事務局との連携	○ 教育委員会の会議が事後承諾にならないように資料提供に配慮し、各委員も内容把握の上、委員会での検討を行った。 また、教育委員会及び関係団体が主催する行事等に積極的に参加することで、教育行政への理解を深めた。
	(4) 教育委員会と首長との連携	① 教育委員会と首長との意見交換会の実施	○ 2月3日の総合教育会議時に、基本方針についての説明や学校支援の基本的な考え方、村長部局からの協議事項に沿って、村長との意見交換会を実施し、業務執行に当たっての諸問題の解決に向け協議を行った。特に今回は、親子山村留学の取り組みの結果について協議を行った。
	(5) 教育委員の研修の充実	① 研修会への参加状況	○ 長崎県で開催された、九州教育委員会研究協議会大会に参加した。またアジア友好の翼事業にも参加し台湾派遣を行いダイトン国民中学校との交流を図った。 その他には、県北教育委員会研修大会の延岡市大会や各種協議会や学校訪問にも参加し教育行政の研修を行った。
	(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	① 学校訪問	○ 支援訪問、定期訪問等を小・中学校すべてを対象として実施することができ、各学校の状況を把握し、支援策を検討することができた。また、学校マネジメント訪問も予定どおり実施ができた。
		② 所管施設の訪問	△ 11～12月にかけて新年度予算ヒアリングと同日に学校修繕ヒアリングも行い、令和8年度予算編成に取り組む事ができた。椎葉中学校寄宿舎（醇和寮）の改修については、令和8年度3月に完成し、リニューアルされた施設で、生徒は快適な生活ができる様になった。

令和7年度 自己点検・評価シート

その2

大項目	中項目	小項目	点検・評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	○	共同事務室を設置しており、教育委員会事務局と学校事務との連携を強化し、更なる円滑な事務管理を図ることができた。また、令和7年度より事務のブロック制を施行して、広域的な事務処理の体制が実施された。
	(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	○	所管する教育施設管理規則の改正等、適宜、制定又は改廃の見直しを行い、委員会の適正な職務執行につとめた。
	(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	○	椎葉中学校の醇和寮の改修が完了した。バリアフリー化も進め、寮生活の環境改善が図られた。
	(4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	○	年度当初の村長部局との交流人事は無かった。 また、学校職員の人事異動についても北部教育事務所と連携を図り、適正な教職員配置を図ることができた。
	(5) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	○	教育予算のほか、議会の議決を経るべき案件においては、あらかじめ教育委員会において審議し、決定することができた。
	(6) 小学校及び中学校の通学区域の設定及び変更に関すること	△	通学区域の設定、変更等はなかった。 しかし、令和6年台風10号による道路災害により大河内地区からの通学路がう回路も含め国道265号の飯干峠からの1路線のみとなり通学に支障をきたしている状況である。う回路は幅員が狭く危険性が高い場所もあり、道路管理者と現状を共有・把握しながら事故発生防止に努め、今後の復旧工事の進捗状況を見守っていく。
	(7) 社会教育委員、社会教育指導員その他の指導員及び委員会の所管に属する附属機関等の委員の任免に関すること	○	社会教育委員及びその他委員会に属し、充職となっている各種団体の長が役員改選又は人事異動があったことから、これに伴う任免を行った。
	(8) 教科用図書の採択に関すること	○	令和7年度は、教科書採択は無かったが、年に1度の教科書展示は行った。
	(9) 文化財の指定及び解除に関すること	○	文化財の指定及び解除に関する案件はなかった。
	(10) 文化功労者、教育功労者、社会教育功労者等の表彰に関すること	△	令和7年度は、功労者表彰の対象者はいなかった。
	(11) (新規) 椎葉村親子山村留学の取組について	△	令和7年度より不土野小学校を拠点として、親子山村留学生を募集したが、結果、4件の問い合わせと、1家族の体験留学のみで、児童の留学生を受け入れることができなかった。次年度も引き続き取組を行っていく。
	(12) その他重要又は異例と認められる事項	△	特になし

令和7年度 自己点検・評価シート

その3

大項目	中項目		小項目	予算費目	評価	点検評価
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育 (教育内容の充実)	① 幼児教育の充実	福祉保健課との連携	なし	○	児童生徒の就学相談や就学指導を円滑に進めるため、課題別検討委員会において保健師等と情報の共有を図った。
		② 小・中学校教育の充実	学校運営協議会	事務局費	○	全校（小学校：5校・中学校：1校）に配置した。保護者や地域住民による学校運営のための支援・協力を図り、学校運営の改善・児童生徒の健全育成に取り組んだ。
			他市町村立小学校との交流学习（宮大附属小）	事務局費 小学校管理費	○	オンラインを活用して、自然や社会環境の異なる小学校との交流を通して、児童の豊かなものの見方、考え方の充実が図られている。
			椎葉村ユニット学習	事務局費 小学校管理費	○	複式指導の部分的改善を図るため、他の学校の同学年とタブレットパソコンでつなぎ、同学年を増やすことで多様な考え方を共有できる新しい学習形態を進めている。小学校では週1～3時間のペースで行っている。 あわせて、「村ICT教育支援員」を（外部）配置し、全学校を年3回訪問して教職員の指導スキルの向上や悩みへの対応を図ることができた。
			教育課程協議会	事務局費	○	教育課程の審議並びに推進に関し、組織運営の機能化を図った。
			高校生生活支援費補助	〃	○	高校生生活に必要な費用に対し、月2万円の助成を行い保護者の負担軽減に努めた。
			奨学資金貸付	〃	○	高校や大学等に進学する際の経済的援助を行った。
			集合学習〈教育課程協議会〉	事務局費、 小学校管理費	○	児童生徒の減少に伴う学級の小規模化による教育内容や教育方法に対応するため、例年夢織りの館を利用して、低学年、中学年、高学年に分けて1学期に6日間、2学期に4日間、一部オンライン形式によりそれぞれ実施した。
			椎葉村学〈教育課程協議会〉	事務局費、 学校管理費	小 ○	令和5年度から「椎葉村学」を、子供たちが地域住民とのふれあい活動を通して、村に暮らす住民の思いや願いを受け止め、椎葉村での昔ながらの暮らしを理解することを目的として、指導要領に準じて総合的な学習の時間内で実施した。
			遠距離通学生徒補助(小学校)	〃	○	児童の通学費についてその一部を助成することにより保護者負担の軽減を図った。
			準要保護児童生徒扶助事業(小学校)	教育振興費(小) 給食管理費	○	経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者に対して援助を行った。
			特別支援教育（小中学校）	学校管理費 (小) (中)	○	すべての子供が意欲的に学習に向き合えるような環境を整えた。 ①支援員3名配置 ②通級指導の充実 ③スクールソーシャルワーカーの配置
	外国語指導助手誘致事業	学校管理費(中)	○	今年度もオーストラリア出身のALT〈英語〉を配置したことで、正しい発音や日本語訳の習得に効果があった。小中各校に計画的に派遣して、児童生徒の英語力向上に努めた。		

令和7年度 自己点検・評価シート

その3

大項目	中項目		小項目	予算費目	評価	点検評価
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育 (教育内容の充実)	② 小・中学校教育の充実	遠距離通学生徒補助(中学校)	教育振興費(中)	○	生徒の通学費についてその一部を助成することにより保護者負担の軽減を図った。
			準要保護児童生徒扶助事業(中学校)	教育振興費(中) 給食管理費	○	経済的理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対して援助を行った。
			就学時健康診断事業	学校保健管理費	○	次年度就学する子供たちの健康診断等を行った。児童生徒の健康管理や生活指導に役立てた。
			教職員健康診断事業	〃	○	児童生徒や教職員の各種検診に加え、本年度から教職員ストレスチェックを別途実施した。
			児童・生徒健康診断事業	〃	○	
			中体連参加補助	教育振興費(中)	○	県大会等への出場者が増えており、生徒の競技力と体力向上が図られている。
	(2) 学校教育(教育環境の整備)	① 学校施設の整備	小学校施設維持管理費(施設管理:委託料・維持工事等)	学校管理費(小)	○	今年度は、不土野小学校、松尾小学校、尾向小学校の3校を主に維持修繕工事を行った。 その他、学校運営上支障を来す箇所を優先的に対応した。
			小学校施設備品の充実	教育振興費(小)	○	予算の範囲内において、各学校からの要望に応じ配備した。
			小学校施設環境整備事業(大規模改修工事等)	学校建築費(小)	○	松尾小学校グラウンド改修工事を実施し、安全に使用できる環境づくりに務めた。
			中学校施設維持管理費(施設管理:委託料・維持工事等)	学校管理費(中)	○	プールや電気工作物等の管理を行うなど安心安全な施設の保守に努めた。
			中学校施設備品の充実	〃	○	予算の範囲内において、学校からの要望に応じ配備した。
			中学校施設環境整備事業(大規模改修工事等)	学校建築費(中)	○	寄宿舎(醇和寮)改修工事を令和6年度繰越と令和7年度の2ヶ年事業として発注を行い、令和8年3月に完成に完成した。
			小学校教育用コンピュータ等リース事業	小学校管理費	○	I C T活用の充実を図るため、情報部会においてタブレット端末を適切に活用できるよう努めた。
			小学校学校教育備品の充実	事務局費 教育振興費(小)	○	児童用のタブレットを県一括購入により更新を行い、I C T教育の充実を図った。 予算の範囲内において、各学校からの要望に応じ配備した。
			小学校学校図書館図書整備事業	〃	○	各学校の蔵書数基準を達成できるよう計画的に購入している。
			小学校教師用教科書・指導書等購入事業	〃	○	改訂初年度であったため、デジタル教科書等を含め整備を図った。
			中学校教育用コンピュータリース事業	学校管理費(中)	○	I C T活用の充実を図るため、I C T部会においてタブレット端末を適切に活用できるよう努めた。
			中学校学校教育備品の充実	事務局費 教育振興費(中)	○	生徒用のタブレットを県一括購入により更新を行い、I C T教育の充実を図った。 予算の範囲内において、学校からの要望に応じ配備した。
			中学校学校図書館図書整備事業	〃	○	学校の蔵書数基準を達成できるよう計画的に購入している。
			中学校教師用教科書・指導書等購入事業	〃	△	事業実施なし

令和7年度 自己点検・評価シート

その3

大項目	中項目		小項目	予算費目	評価	点検評価
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(2) 学校教育（教育環境の整備）	① 学校施設の整備	プール・保健室用薬品等購入事業	学校保健管理費	○	児童生徒の健康管理のため必要な薬品、薬剤の購入を行った。
			(新) 学校給食での給食補助及び食育への取組	小中学校給食管理費	○	椎葉村で学校給食費の補助を行うことにより保護者の給食費の負担軽減に努めた。その他、給食費の公会計化に向けての取り組みを行った。
			学校給食施設管理事業	〃	○	安全・保健衛生両面に十分留意し、適切な給食を実施した。
			G I G Aスクール構想事業	事務局費	○	児童・生徒用のタブレットを県一括購入により更新を行い、I C T教育の充実を図った。 児童・生徒の学びを確保するために、タブレット導入、学習用ネットワークの構築、遠隔授業、家庭用学習のための各種機器の導入を図った。また、学校における支援体制を強化した。
			寄宿舎運営業務	寄宿舎費	○	寄宿舎管理に必要な需用費について十分な予算管理を行った結果、充実した寄宿舎運営が行われた。34名の生徒が寄宿舎を利用した。
	(3) 青少年の健全育成	① 青少年教育環境の充実	二十歳を祝う会	社会教育総務費	○	椎葉村開発センターにて、対象者（21名）に二十歳の証を交付し二十歳の門出をお祝いした。また、対象者主催による同窓の集いも行い、恩師からのビデオレターの放映等を行った。
			社会教育関係団体運営補助金（椎葉村青年団連絡協議会）	〃	○	椎葉村青年団連絡協議会（会員49名）が行う事業を支援し、青年団の育成に努めた。オルグ活動や映写会も実施され、各地区においてはクリスマスサンタとしてプレゼント配付等の交流活動を行うなど青年団を中心とした青少年健全育成の向上に努めた。しかし、とびがち大会は、インフルエンザの流行により中止になった。 県大会においては3種目（バドミントン、ボウリング、軟式野球）へ参加した。 また、生涯学習フェスティバルでは、スタッフとして協力をした。
			社会教育関係団体運営補助金（椎葉村PTA連絡協議会）	〃	○	P T A・家庭教育研修大会を開発センターにて開催した。講演では、「多様な性と人権」について、黒木瑞希氏を招いて、講演を行った。
			社会教育関係団体運営補助金（椎葉村子ども会育成連絡協議会）	〃	○	平家まつりでは、10団体中6団体がやまびこ発表会で神楽や合唱を発表した。また、その他に各地区においても積極的な子ども会活動が図られた。

令和7年度 自己点検・評価シート

その3

大項目	中項目		小項目	予算費目	評価	点検評価
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(3) 青少年の健全育成	① 青少年教育環境の充実	家庭教育促進事業（家庭教育学級）	〃	○	家庭教育学級では、各学級とも当初計画していた活動を実施しながら、自己研鑽に努めた。
			青少年育成村民会議	〃	○	各公民館への補助金（2万円）を交付し、子ども関連の行事に有効活用した。高校生を励ます会は、村内で開催し高校生、保護者、関係者含め55人の参加者があり盛会だった。椎葉村こどもの声を聞く会は生涯学習フェスティバルの場で実施し、録画放送も行った。村民に子供たちの考えを知ってもらう良い機会となった。
		② 青少年健全育成の推進	放課後子ども教室	社会教育総務費	○	子供たちの放課後の居場所づくり、健全育成を目的に椎葉小学校、松尾小学校、尾向小学校、不土野小学校の4校において実施した。
	(4) 生涯学習・社会教育	① 学習機会の拡充と人材育成	社会教育関係団体運営補助金（椎葉村地域婦人連絡協議会）	〃	○	椎葉村地域婦人連絡協議会（会員：127名）の運営補助を行い活動の発展向上に努めた。活動については、今年度より2回あった行事を女性交流会と名称を変更し、1つに統合して行事の簡素化を図った。大会は盛会だった。その他、各地区婦人会においても各公民館行事等への積極的な参加が見られた。
			社会教育関係団体運営補助金（椎葉村公民館連合会）	公民館費	○	各公民館の活動促進を図るため運営補助金の交付や活動への支援を行い、地域住民の文化活動や学習機会の創出等を図り、生活文化の向上に努めた。各自治公民館長で組織する公民館連合会では、各種会議、研修会等に積極的に参加し、各公民館での活動に活かされるよう取り組んだ。
			生涯学習推進事業（生涯学習フェスティバル）	社会教育総務費生涯学習まちづくり推進費	○	開発センターにて実施した。約350名の参加があった。また、講演会は真北聖子氏を招き障害者であるが前向きに生きて行く内容であった。参加者からも好評で、盛会の内に終了した。
			生涯学習推進事業（各種講座）	生涯学習まちづくり推進費	○	受講者の自主的な企画運営の形式にした。実施に当たっては、おおむね5名以上のグループによる講座申し込みとなり、事務局は、講座が開催されれば、その実績により謝礼を支払いする形式である。その結果が好評で、17講座で約1,050名の参加が得られた。また、その作品等は生涯学習フェスティバルでも展示した。

令和7年度 自己点検・評価シート

その3

大項目	中項目		小項目	予算費目	評価	点検評価
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(4) 生涯学習・社会教育	② 自治公民館活動の充実	アジア友好の翼事業	人づくり推進費	○	令和5年度より交流を行っている台湾の台中市立大墩国民中学校を訪問し交流を図った。今年度は、姉妹校の締結も行い、今後はより一層本格的な交流を行っていく事になる。生徒たちは、広く海外に目を向け、生活、歴史、文化に触れる事で国際化社会に対応できる青少年の育成を図る事ができた。
			自治公民館活動事業（各組合）	公民館費	○	各組合においては、積極的な活動を推進し、組合相互の親睦と地域のつながりが図られた。
			自治公民館建設補助	公民館費	○	自治組合の拠点となる集会センター改修への助成を行い、施設の維持と地域の活性化に取り組んだ。（実績：2組合1公民館）
	(5) 図書館サービスの充実	① 図書館の整備充実	図書室の充実	社会教育総務費	○	令和3年3月より5カ年計画として策定した「椎葉村子ども読書活動推進計画」に基づき、椎葉村図書館（カテリエ）と連携し、社会教育の立場で協力をしながら、村民への読書活動の推進を図った。
		② 図書館サービスの充実	読書活動推進事業	〃	○	
	(6) 村民文化	① 文化活動の推進	村文化協会運営補助金	〃	○	各団体練習等を行い、生涯学習フェスティバルの場で発表を行った。また、民謡会の会員が全国大会に出場したり、各団体で積極的に会員の募集を行うなど、精力的に活動している。
			十根川地区伝統的建造物群保存会補助金	文化財保護費	○	十根川・大久保を守る会への運営補助を行った。守る会が中心となり、自分達の生活の場でもある伝建地区の環境整備を実施し、景観の保全に取り組んだ。
			神楽保存連合会補助金	〃	○	伝統文化の継承への意識向上を図るため「椎葉神楽まつり」を開催し本村の神楽の魅力を発信した。また、大阪万博を始め、村外公演も積極的に参加し、神楽保存会の保存継承に繋げた。
			村指定無形民俗文化財保存協議会補助金	〃	○	無形民俗芸能保存団体への運営補助を行い、伝統文化・芸能等の保存継承を図ることができた。
			子ども焼畑体験学習補助金	〃	○	実行委員会を組織し、公民館と小学校が連携し体験学習を実施し、郷土の文化を後世につなぐ取組を行っている。今年度で37回目の取り組みとなり、世界農業遺産にも登録されている伝統的な農法で、今後も継続し支援を行う。
			椎葉民俗芸能博物館事業	民俗芸能博物館費	○	本村独自の歴史・文化・民俗芸能等の保存継承を図るため、地域おこし協力隊（山奥学芸員）2名を中心に、施設並びに展示物等の管理・運営に務めた。また、特別展示室の改修やワークショップも開催して、椎葉村の伝統的な文化に触れることができた。
			文化財施設整備事業	文化財保護費	○	天然記念物周辺整備として草刈等作業を実施した。また、那須家住宅の千木の改修と十根川神社の八村杉の回廊を改修し、景観の保全と観光客の安全を図った。

令和7年度 自己点検・評価シート

その3

大項目	中項目		小項目	予算費目	評価	点検評価
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(6) 村民文化	① 文化活動の推進	十根川地区伝統的建造物群保存修理整備事業	文化財保護費	△	重要伝統的建造物群保存地区である十根川地区の建築物の保護を目的とした本年度の事業は、石垣の災害復旧工事を2件実施し年度内に完成した。
			村指定無形民俗文化財伝承活動補助金	〃	○	無形民俗芸能保存団体への運営補助を行い、伝統文化・芸能等の保存継承を支援し、保存継承を後押しした。
			重要無形民俗文化財椎葉神楽保存伝承活動事業補助金	〃	○	夜神楽など例年どおりの奉納が行われ、保存継承の取り組みも積極的に行われている。村外の神楽公演への参加なども積極的に行われた。しかしながら、後継者不足の保存会が多数あるため、貴重な民俗芸能の保存継承の支援を積極的に行っていく。他に松尾神楽においては、コロナ化後、数年ぶりに松尾大いちょうセンターにて、畑・鳥の巣、水越、栗尾地区の3団体の神楽を舞い神楽継承に務めた。
			椎葉村民俗芸能博物館維持管理	民俗芸能博物館費	○	学芸員を中心に本村の歴史・文化・民俗芸能等の保存・継承を図るため、施設の修繕並びに展示物等の管理・運営に努めた。
	(7) スポーツ・レクリエーション	① 施設の整備充実	総合運動公園管理委託業務	事務局費 (非常勤職員報酬) 体育施設費	○	総合運動公園内の陸上競技場、野球場、ソフトボール場、弓道場、体育館等のスポーツ施設において、管理人を従事させて周辺整備等の維持管理に努めた。
			鹿野遊・仲塔・尾八重・松尾・小崎地区村体育館管理事務費	〃	○	各公民館の住民の体力の増進と健康管理及び福祉の向上を図るため、社会体育施設の維持管理を行った。
		② 生涯スポーツの振興	椎葉村スポーツ推進員活動経費	体育振興費	○	推進委員会を6回開催した。県大会、研修等にも参加し、推進員の資質向上に努めた。
			椎葉村スポーツ祭	体育振興費	△	スポーツ推進委員会、スポーツ協会との会議で競技内容の検討を行い、住民任意参加による村民スポーツ祭を6年ぶりに開催し139名の村民が参加し盛会に終了した。
			地区巡回ふれあいスポーツ講座	体育振興費	○	村内10公民館中7公民館で巡回ふれあいスポーツ講座を開催し、153名の参加があった。
		③ 関係団体及び指導者の育成	椎葉村スポーツ協会補助金	体育振興費	○	7協会、2クラブが加盟しスポーツの振興及び体力の向上を図っている。積極的に活動を行っている団体もあれば、現況に合わせて活動を再開する団体も見られた。中には活動・運営が厳しい団体も見受けられる。

令和7年度 自己点検・評価シート

その3

大項目	中項目		小項目	予算費目	評価	点検評価
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(7) スポーツ・レクリエーション	③ 関係団体及び指導者の育成	椎葉村スポーツ少年団補助金	〃	○	8団78名が加入し各競技において活動しており、団相互の交流と親睦を図った。また、各種大会にも参加し、競技力の向上も図った。
			県民総合スポーツ祭(スポーツ協会補助に含まれている)	体育振興費	○	陸上に7名、剣道に7名、グラウンドゴルフに15名の選手が参加した。競技力の向上と選手相互の親睦を図った。
			市町村対抗駅伝大会(体育協会補助に含まれている)	〃	○	結団式を開催し、6回の合同練習を行い大会に参加した。今回も繰り上げスタートが無く、応援がしやすい県運動公園の周回コースで実施された。しかし、大会前に4名の選手がインフルエンザに感染し出場自体も危ぶまれたが予備選手の尽力で全区間完走する事ができた。
	(8) 人権の尊重	① あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	人権教育推進事業	社会教育総務費	○	単位PTAが毎年研修の企画運営をすることにより、研修の定着や教育力の充実などが図られている。また、小中学生を対象とした人権作品展を開催し、生涯学習フェスティバルで表彰及び展示を行いながら、意識の向上を図っている。
	(9) その他教育関連事項	① 地域持続化のための施策	奨学資金貸付返還免除規定	事務局費	○	奨学生であった者が村内に居住していることが認められた場合には、Uターンの促進を目的に、令和7年度より村内帰省者は、在住期間中は返済上限を撤廃し、すべて減免する事で決定した。